

# 安全データシート

## N-メチルアセトアミド

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

### 1. 化学品及び会社情報

#### 製品識別子

製品名 : N-メチルアセトアミド  
CB番号 : CB2302560  
CAS : 79-16-3  
EINECS番号 : 201-182-6  
同義語 : N-メチルアセトアミド

#### 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 医薬中間体 (NITE-CHRIPより引用)  
推奨されない用途 : なし

#### 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 分類実施日(物化危険性及び健康有害性)

R5.3.31、政府向けGHS分類ガイダンス(令和3年度改訂版(Ver2.1))を使用 ※一部、ガイダンス(H22.7版) (GHS 3版, JIS Z 7252:2009)

##### 物理化学的危険性

-

##### 健康に対する有害性

生殖毒性 区分1B

##### 分類実施日(環境有害性)

ガイダンス(H22.7版) (GHS 3版, JIS Z 7252:2009)

##### 環境に対する有害性

-

#### 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

##### 絵表示

GHS08

#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

#### 注意書き

##### 安全対策

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

##### 応急措置

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

##### 保管

P405 施錠して保管すること。

##### 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

専門的な使用者に限定。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学特性(示性式、構造式 等)	: C3H7NO
分子量	: 73.09 g/mol
CAS番号	: 79-16-3
EC番号	: 201-182-6
化審法官報公示番号	: 2-3072
安衛法官報公示番号	: 2-(6)-569

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

医師に相談する。この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。医師に相談する。

#### 皮膚に付着した場合

石けんと多量の水で洗い流す。医師に相談する。

#### 眼に入った場合

予防措置として、水で眼を洗浄する。

#### 飲み込んだ場合

意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。口を水ですすぐ。医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

### 5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

窒素酸化物(NOx)

### 5.3 消防士へのアドバイス

消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

### 5.4 詳細情報

データなし

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を使用する。粉じんの発生を避ける。蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。十分な換気を確保する。安全な場所に避難する。

粉じんを吸い込まないように留意。個人保護については項目8を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。掃いてシャベルですくいとる。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

#### 安全取扱注意事項

粉じんやエアゾルを発生させない。安全取扱注意事項曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。

#### 火災及び爆発の予防

粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

#### 衛生対策

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。休憩前や終業時には手を洗う。注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

#### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 6.1D: 不燃性、急性毒性カテゴリー3 / 毒性危険物または慢性効果を引き起こす危険物

#### 保管条件

容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。不活性ガス下に貯蔵する。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

#### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

### 8.2 曝露防止

#### 適切な技術的管理

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。休憩前や終業時には手を洗う。

#### 保護具

##### 眼 / 顔面の保護

EN166に適合するサイドシールド付き保護眼鏡 NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。(手袋外面に触れずに)適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: クロロプレン

最小厚: 0.6 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Camapren® (KCL 722 / Aldrich Z677493, Size M)

飛沫への接触

材質: 天然ラテックス/クロロブレン

最小厚: 0.6 mm

破過時間: 60 min

試験物質: Lapren® (KCL 706 / Aldrich Z677558, Size M)

データソース: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法: EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

#### 身体保護

不浸透性衣服、特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

#### 呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、N100型 (US) または P3型 (EN 143) 呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH (US) または CEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

#### 環境暴露の制御

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

物理状態 固体 (20°C、1気圧) (GHS判定)

色 無色

臭い データなし

26~28 °C (ICSC(2018))

204~206 °C (ICSC(2018))

難燃性 (GESTIS(2023))

3.2~18.1 vol. % (GESTIS(2022))

108 °C (GESTIS(2022))

490 °C (GESTIS(2022))

データなし

データなし

データなし

水: (20°C)(可溶)(GESTIS(2022))

log Kow: -1.05 (GESTIS(2022))

0.59 hPa (23°C) (GESTIS(2022))

0.957 g/cm³ (25°C) (GESTIS(2022))

データなし

データなし

#### 融点/凝固点

26~28 °C(ICSC(2018))

#### 沸点、初留点及び沸騰範囲

204~206 °C(ICSC(2018))

#### 可燃性

難燃性(GESTIS(2023))

#### 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

3.2~18.1 vol.%(GESTIS(2022))

#### 引火点

108 °C(GESTIS(2022))

#### 自然発火点

490 °C(GESTIS(2022))

#### 分解温度

データなし

#### pH

データなし

#### 動粘性率

データなし

#### 溶解度

水: (20°C)(可溶)(GESTIS(2022))

#### n-オクタノール/水分配係数

log Kow: -1.05(GESTIS(2022))

#### 蒸気圧

0.59 hPa(23°C)(GESTIS(2022))

#### 密度及び/又は相対密度

0.957 g/cm<sup>3</sup>(25°C)(GESTIS(2022))

#### 相対ガス密度

データなし

#### 粒子特性

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

データなし

### 10.2 化学的安定性

推奨保管条件下では安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

データなし

### 10.5 混触危険物質

強酸化剤

### 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口

ラットのLD50値は5000 mg/kg(HSDB(2011))に基づき、JIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5)とした。

経皮

データなし。

吸入:ガス

GHSの定義における固体である。

吸入:蒸気

データなし。

吸入:粉じん及びミスト

データなし。

### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データなし。

### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし。

### 呼吸器感作性

データなし。

## 皮膚感作性

データなし。

## 生殖細胞変異原性

データなし。

## 発がん性

データなし。

## 生殖毒性

【分類根拠】(1)~(3)より、3動物種で胎児毒性と奇形発生の増加がみられ、ウサギとマウスでは母動物毒性がない用量で投与に関連した奇形の増加がみられた。(4)より、ラットも母動物毒性がない用量から胚/胎児毒性がみられた。以上より、区分1Bとした。なお、旧分類からEUでGHS区分が変更されたため、生殖毒性を検討して見直した(2022年度)。

【根拠データ】(1)ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験(妊娠6~15日、400 mg/kg/day)では、母動物に体重増加抑制がみられる400 mg/kg/dayで、後期吸収の増加、胎児体重、胎盤重量及び頭臀長の減少と奇形発生(椎体の分裂・両側性湾曲肋骨・心臓の回転・全身浮腫・口蓋裂)増加がみられたとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed July 2022))。(2)ウサギを用いた強制経口投与による発生毒性試験(妊娠6~18日、9.5~235 mg/kg/day)では、母動物に体重増加抑制、摂餌量減少がみられる高用量(235 mg/kg/day)で、胎児体重及び胎盤重量減少がみられたとの報告がある。母動物に影響がみられない中用量(47 mg/kg/day)以上で、奇形胎児数の増加がみられ、統計的有意差はないものの対照群には稀にしかみられない奇形(口蓋裂、単純性内臓脱出症、脊柱前弯、口唇口蓋裂、合指症、胸椎裂、横隔膜ヘルニア、四肢の位置異常)がみられたとの報告がある。高用量では、奇形児を有する腹数の有意な増加がみられたとの報告がある(AICIS IMAP (2016)、REACH登録情報 (Accessed July 2022))。(3)マウスを用いた強制経口投与による発生毒性試験(妊娠6~15日、220~660 mg/kg/day)では、母動物に影響のない高用量(660 mg/kg/day)で胎児に低体重、矮小児数の増加、奇形(外脳症、髄膜瘤、形成不全、二分脊椎、口蓋裂、癒合肋骨)の増加がみられたとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed July 2022))。(4)ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験(妊娠6~15日、260~800 mg/kg/day)では、母動物に影響のない低用量(260 mg/kg/day)で胚吸収の増加、生存胎児に低体重と胎盤重量減少がみられ、母動物に死亡(1/22例)、体重増加抑制がみられた高用量(800 mg/kg/day)では全胚吸収が生じ、胎児の発生影響は確認できなかったとの報告がある(REACH登録情報 (Accessed July 2022))。

【参考データ等】(5)EUではRepr. 1Bに分類されている(CLP分類結果 (Accessed July 2022))。

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし。

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし。

## 誤えん有害性\*

データなし。

\* JIS Z7252の改訂により吸引力呼吸器有害性から項目名が変更となった。

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性



止水式試験 LC50 - *Leuciscus idus* (コイの一種) - 3,390 mg/l - 96 h

(DIN (ドイツ工業規格) 38412)

ミジンコ等の水生無脊

止水式試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - > 580 mg/l - 48 h

椎動物に対する毒性

(DIN (ドイツ工業規格) 38412)

藻類に対する毒性

止水式試験 EC50 - *Desmodesmus subspicatus* (緑藻) - > 500 mg/l - 72 h

## 12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 70 % - 易分解性。

## 12.3 生体蓄積性

データなし

## 12.4 土壌中の移動性

データなし

## 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

---

# 13. 廃棄上の注意

## 13.1 廃棄物処理方法

製品

免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。可燃性溶剤に溶解または混合し、アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却する。汚染容器及び包装製品入り容器と同様に処分する。

---

# 14. 輸送上の注意

## 14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制) :- IMDG (海上規制) :- IATA-DGR (航空規制) :-

## 14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制) : 非危険物

IMDG (海上規制) : Not dangerous goods

IATA-DGR (航空規制) : Not dangerous goods

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制) :- IMDG (海上規制) :- IATA-DGR (航空規制) :-

#### 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：- IMDG（海上規制）：- IATA-DGR（航空規制）：-

#### 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：非該当  
非該当

#### 14.6 特別の安全対策

#### 14.7 混触危険物質

強酸化剤

詳細情報

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

---

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付の義務化候補物質リスト(令和5年)

### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

### 毒物及び劇物取締法

該当しない

### 化審法

新規公示化学物質（2011年3月31日以前届出）

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。